

東京 PCB 処理事業所 2025 年度これまでの解体撤去工事の実施状況及び今後の予定

東京 PCB 処理施設の先行工事を含む解体撤去工事の全体については、「東京 PCB 処理事業所 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去計画の概要」（東京事業部会承認 2022/10/31 承認、2025/3/10 改訂、以下「概要」という）を策定し、施設の解体撤去の工程・工期等の概要を示した。また、概要では解体撤去の各作業・工事については、計画書及び報告書等の文書を作成し、東京事業部会の審議・了承を得たうえで、これらに従って進めることとしている。

東京事業部会は原則、年 3 回（7 月、10 月及び 3 月）開催しており、計画書等は該当工事等の前に事業部会に諮り、報告書は工事終了後の直近の事業部会に報告することを基本としている。

事業終了準備期間中から進めている先行解体撤去については、「不要設備に対する先行解体撤去工事の実施のための指針」（2022. 10. 31 承認、東京事業部会、2025. 3. 20 改訂）に基づいて、6 設備（リン含有 PCB 油前処理設備、安定器等処理設備、コンデンサー解体設備、鉄心コイル破砕・分別設備、廃粉末活性炭スラリー化設備、除染室の抜油・排気処理設備）を対象設備に選定し、「東京 PCB 処理事業所 不要設備の先行解体撤去工事の実施計画書」（以下「実施計画書」という）を策定して、計画書及び報告書について上記のとおり東京事業部会の審議を頂きながら計画的に進めている。また、2026 年度より始まるプラント設備の本格解体撤去工事の準備として、2026 年 1 月に全処理対象物の処理完了後、プラント設備の洗浄作業を予定している。

1. 2025 年度上期での解体撤去工事の実施状況及び今後の予定

1) 2025 年度上期までの東京事業部会での作成文書の審議及び作業・工事の実施状況

表 1-1、表 1-2 に、これまでの解体撤去工事に係る東京事業部会での作成文書の審議状況及び予定を示す。2025 年度の第 1 回事業部会での承認分については青色、本事業部会での審議予定は赤色で示した。

また、別紙 - 1 に「解体撤去工事に関する文書の策定状況（総括表）」を示す。

表 1-1 東京 PCB 処理事業所 2025 年度上期までの解体撤去工事に関する作成文書の概要

※；青字：2025 年度に承認

分類	文書名	部会承認
基本方針	東京 PCB 処理事業所 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去計画の概要	制定 2022/10/31 改訂 2025/3/10
不要設備の 先行解体 撤去工事	東京 PCB 処理事業所 不要設備に対する先行解体撤去工事の実施のための指針	制定 2022/10/31 改訂 2023/10/30 改訂 2025/3/10
	「洗浄作業」、「PCB 付着状況調査」、「PCB の除去分別作業」、「解体撤去工事」に関する計画書・報告書（詳細は表 1-2 参照） （先行解体撤去対象設備） ① 安定器等処理設備 ② リン含有 PCB 油前処理設備 ③ コンデンサー解体設備 ④ 鉄心コイル破砕・分別設備 ⑤ 廃粉末活性炭スラリー化設備 ⑥ 除染室の抜油・局所排気設備	表 1-2 参照
本格解体 撤去工事	プラント設備 タンク類・配管の洗浄作業計画書	承認 2025/11/10
	解体撤去工事実施のための指針	承認 2025/11/10
共通的な 原則・指針	東京 PCB 処理施設の解体撤去工事における対応の原則（添付資料-3）	制定 2024/8/5
	東京 PCB 処理事業所 設備・装置・機器及び建築物等の解体撤去工事における重要な指針（添付資料-4）	制定 2024/8/5

表 1 先行解体撤去の作業・工事に係る作成文書の審議状況(2022～2025 年度)

※:青字:2025 年度に審議

	No	先行解体撤去設備	作成文書	東京事業部会での承認・審議
先行解体 撤去工事	①	リン含有 PCB 油前処理設備	洗浄等計画書	2022 年度第 2 回で承認(2022.10.31)
			洗浄等報告書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
			PCB 付着状況調査計画書	2022 年度第 2 回で承認(2022.10.31)
			PCB 付着状況調査報告書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
			PCB 除去分別計画書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2023 年度第 1 回で承認(2023.8.10)
			PCB 除去分別報告書	2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
			解体撤去工事実施計画書	2023 年度第 1 回で承認(2023.8.10)
			解体撤去工事実施報告書	2024 年度第 1 回で承認(2024.8.5)
	②	廃粉末活性炭スラリー化設備	洗浄等計画書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29)
			洗浄等報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 付着状況調査計画書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29)
			PCB 付着状況調査報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			解体撤去工事実施計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			解体撤去工事途中経過報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			解体撤去工事実施報告書	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)
	③	安定器等処理設備	洗浄等計画書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
			洗浄等報告書	2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
			PCB 付着状況調査計画書(予備選所装置)	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
			PCB 付着状況調査計画書(破碎分別装置)	2023 年度第 1 回で承認(2023.8.10)
			PCB 付着状況調査報告書	2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
			PCB 除去分別計画書	2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			解体撤去工事実施計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			解体撤去工事途中経過報告書	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)
			解体撤去工事途中経過報告書	2025 年度第 2 回で承認(2025.11.10)
	④	コンデンサー解体設備	洗浄等計画書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29)
			洗浄等途中経過報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			洗浄等報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			PCB 付着状況調査計画書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29)
			PCB 付着状況調査途中経過報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 付着状況調査報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			PCB 除去分別計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)
			PCB 除去分別報告書	2025 年度第 2 回で承認(2025.11.10)
			解体撤去工事実施計画書*	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)*
	⑤	鉄心コイル破碎・分別設備	PCB 付着状況調査計画書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29)
			PCB 付着状況調査報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2024 年度第 3 回で承認(2025.3.10)
			PCB 除去分別途中経過報告書	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)
			PCB 除去分別報告書	2025 年度第 2 回で承認(2025.11.10)
			解体撤去工事実施計画書*	2025 年度第 1 回で承認(2025.7.31)*
	⑥	除染室の抜油・排気処理設備	洗浄等計画書	2025 年度第 2 回で承認(2025.11.10)
本格解体 撤去工事	①	プラント設備 タンク類・配管系統	洗浄等計画書	2025 年度第 2 回で承認(2025.11.10)

*: (4)コンデンサー解体設備と(5)鉄心コイル破碎・分別設備の解体撤去工事は併せて実施することとし、一つの実施計画書として承認頂いた。

2)2025 年度上期での解体撤去工事の実施状況及び今後の予定

(1)先行解体撤去工事

表 2 に、先行解体撤去工事に係る作業・工事の 2024 年度までの実施状況および 2025～2026 年度の予定、並びに東京事業部会における作成文書の審議の実施時期を示す。（2024 年度 10 月までの実績は赤字で示す。）

2024 年度は、2022 年度に開始した不要設備の先行解体撤去工事を引き続き進めた。

各対象設備に対し、洗浄作業、PCB 付着状況調査、PCB 除去分別作業、解体撤去工事の各工程について、実施前には計画書の審議を、終了後に結果報告書の審議・承認を頂きながら着実に進めた。また、各工程の作業・工事の途中に部会が開催される場合には途中経過を報告した。

先行解体撤去の対象設備の 2025 年度 10 月までの先行解体撤去工事の実施状況及び今後の予定は次の通りである。

①リン含有PCB油前処理設備(解体撤去工事;2024/3 完了)

2023 年度に解体撤去工事(2023/12～2024/3)を完了し、2024 年度第 1 回部会(2024/8/5 開催)にて解体撤去工事の実施報告書について承認を頂いた。

②安定器等処理設備(PCB 除去分別作業;2025/1 完了、解体撤去工事;2025/6～2026/2 予定)

PCB 除去分別作業については、計画(2023 年度第 2 回部会で承認)に基づいて 2023/12 より開始し、2025/1 に終了した。実施期間中、2024 年度部会で 2 回、途中経過を報告（第 1 回;2024/8/10 開催、第 2 回;2024/10/23 開催）して承認を頂き、第 3 回部会(2025/3/10 開催)で結果報告書の承認を頂いた。

解体撤去工事については、2024 年度第 2 回部会（2024/10/23 開催）で実施計画書の承認を頂いた。

2025 年度については、6 月に解体撤去工事を着工し、途中経過を 2025 年度第 1 回部会及び第 2 回部会で報告(第 1 回 2025/7/31 承認、第 2 回 2025/11/10 承認)した。工事は 2026 年 2 月に完了する予定である。

③コンデンサー解体設備(洗浄作業・付着状況調査;2025/2 完了、PCB 除去分別作業;2025/1～10 完了、解体撤去工事;2025/12～2026/9 予定)

大型セル及びグローブボックスの洗浄作業及び付着状況調査について、計画(2023 年度第 3 回部会で承認)に基づいて 2024 年 4 月より開始し、2025 年 2 月に終了した。実施期間中、2024 年度部会で 2 回、途中経過を報告（第 1 回;2024/8/10 開催、第 2 回;2024/10/23 開催）して承認を頂き、第 3 回(2025/3/10 開催)で結果報告書の承認を頂いた。

PCB 付着状況調査の途中経過報告書及び PCB 除去分別計画書について 2024 年度第 2 回部会（2024/10/23 開催）で承認を頂いた。

PCB の除去分別作業は、2025 年 1 月より開始した。

2025 年度は、引き続き PCB 除去分別作業を実施し、途中経過を 2025 年度第 1 回部会で報告(2025/7/31 承認)した。除去分別作業は 10 月に完了し、第 2 回部会(2025/11/10 開催)にて、結果報告書の承認を頂いた。

解体撤去工事については、2025 年度第 1 回部会(2025/7/31 開催)で実施計画書の承認を頂き、2025 年 12 月から 2026 年 9 月の予定で実施予定である。

④鉄心コイル破碎・分別設備(付着状況調査;2024/9 完了、PCB 除去分別作業;2025/2～10 完了、解体撤去工事;2025/12～2026/9 予定)

付着状況調査を 2024 年度 9 月に計画書(2023 年度第 3 回部会で承認)に基づいて実施し、2024 年度第 2 回部会（2024/10/23 開催）で、結果報告書の承認を頂いた。

PCB の除去分別作業については、2024 年度第 2 回部会（2024/10/23 開催）で計画書の承認を頂き、2025 年 1 月より開始した。

2025 年度は、引き続き PCB 除去分別作業を実施し、途中経過を 2025 年度第 1 回部会で報告(2025/7/31 承認)した。除去分別作業は 10 月に完了し、第 2 回部会(2025/11/10 開催)にて、結果報告書の承認を頂いた。

解体撤去工事については、2025 年度第 1 回部会(2025/7/31 開催)で実施計画書の承認を頂き、2025 年 12 月から 2026 年 9 月の予定で実施予定である。

⑤廃粉末活性炭スラリー化設備(解体撤去工事;2025/4 完了)

洗浄作業を計画書(2023 年度第 3 回部会承認)に基づいて 2024 年 6 月から 9 月に実施し、その後、PCB 付着状況調査を同年 10 月に実施した。2024 年度第 2 回部会(2024/10/23 開催)において、洗浄等報告書及び PCB 付着状況調査報告書の承認を頂いた。

PCB の除去分別作業は、2024 年度第 2 回部会(2024/10/23 開催)で承認を頂き、2024 年 11 月から 2025 年 1 月に実施し、実施結果は 2024 年度第 3 回部会(2025/3/10 開催)で報告し、承認を頂いた。

解体撤去工事は 2024 年度第 2 回部会(2024/10/23 開催)で実施計画書の承認を頂き、2025 年 2 月より開始し、同年 4 月に終了した。

2025 年度は、第 1 回部会(2025/7/31 開催)で解体撤去工事の実施結果報告書の承認を頂いた。

⑥除染室(解体撤去工事;2025/4 完了)

2024 年度第 3 回部会(2025/3/10 開催)で新たに先行解体撤去対象の設備に選定した。

2026 年 1 月～2 月に洗浄作業を実施して PCB 付着状況調査を予定しており、本部会で計画書を審議頂く予定である。

(2)本格解体撤去工事

①プラント設備(配管・タンク類の洗浄作業;2026/1～3 予定)

2026 年 1 月に全処理対象物の処理を完了する予定であり、その後、PCB 保管タンク類及び移送配管並びに加熱処理設備の凝縮液回収系統の洗浄作業を実施する。第 2 回部会(2025/11/10 開催)にて、洗浄作業計画書を承認頂き、2026 年 1 月から 3 月に実施予定である。

2. 2025 年度上期での解体撤去物の処理・払い出しの実施状況

表 3 に解体撤去物及び二次廃棄物(PCB 汚染物)の対応と払出し先を示す。

先行解体撤去では、資源有効利用の原則に従って、PCB 除去分別の取外し工事等に伴って発生した解体撤去物の払出しを行う。該当性判断基準以下の解体撤去物(PCB 付着なし)については、元請会社処分として有価売却または産業廃棄物として払出しを行う。高濃度または低濃度 PCB が付着した金属類については、既設設備で洗浄処理し、卒業基準以下にして有価売却または産業廃棄物として払出しを行うことを原則とする。既設設備での洗浄処理の対象外の低濃度汚染物については無害化処理認定施設へ払出しを行う。

低濃度汚染物の払出し時の荷姿は、鉄箱等の密閉容器や有姿の場合は二重梱包を行う。

表3 解体撤去物及び二次廃棄物(PCB 汚染物等)の対応と払出し

PCB 付着レベル*	解体撤去物及び 同二次廃棄物の区分	作業・処理等	払出しの荷姿等	払出し先等
該当性判断基準 以下	非管理区域、一般管理/レベル1区域 の PCB 接触履歴がないもの ・内部流体が非 PCB の配管等 ・可燃物:保温材等 ・金属類:パイプやポンプ類等	作業時に PCB 汚染 がないように取り外 して分別	ドラム缶等の容器、フレ コンバック、コンテナ等	元請会社が有価 売却または:産業 廃棄物として処分
低濃度及び 高濃度汚染物	金属類: バルブ・計器類及びポンプ類等で洗 浄処理が可能なもの	既設設備で卒業基 準以下まで洗浄処 理	ドラム缶等の容器、フレ コンバック、コンテナ等	有価売却または 産業廃棄物として 委託処理
高濃度汚染物	可燃物: 二次廃棄物のウェスや防護服等	既設設備で低濃度 レベルに加熱処理	ドラム缶・鉄箱等の密閉 容器等	無害化処理認定 施設で委託処理
低濃度汚染物	可燃物: 保温材や二次廃棄物のウェス等	取り外し時、発生時 に分別	ドラム缶・鉄箱、フレコン バック(二重仕様)等の密 閉容器等	無害化処理認定 施設で委託処理
	金属類:タンク類、コンベアー、 鉄骨架構類等	取外しまたは切断	有姿で二重梱包	
	金属類:分離困難な低濃度 PCB 付着 部品を含むバルブ・計器類及びポンプ 類等	取り外して分別	ドラム缶・鉄箱等の密閉 容器	

*:PCB 付着状況調査・除去確認調査による

1)解体撤去物(事業所内処理物)、元請会社による払出しの実績

表 4 に解体撤去物(事業所内処理物)の 2025 年度上期の月別払出し実績を示す。

事業所内処理物は、既設設備で卒業基準以下まで処理を行い、有価物または産業廃棄物として払出したものである。2025 年度上期は、洗浄処理して有価売却したものは約 50 t で、産業廃棄物として払い出したものは 0 である。加熱処理を行って産業廃棄物として払出したものは、これまでに実績はない。

表 5 に有価物あるいは産業廃棄物として搬出した月別実績を示す。PCB の付着がない解体撤去物については元請会社に排出事業者責任がある。2024 年度は元請会社処分による払出し実績はなかった。

表4 解体撤去物(事業所内処理物)の月別処理実績

月度		2025年度							2025年度 4-10月累
		4	5	6	7	8	9	10	
解体撤去物 (事業所内処理物) 重量 (kg)	洗浄処理・ 有価物	10,550	1,960	0	5,086	18,001	14,816	13,012	63,425
	洗浄処理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0
	加熱理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0

表5 元請会社が処分した解体撤去物(PCB 付着なし)の月別搬出実績

月度		2025年度							2025年度 4-10月累計
		4	5	6	7	8	9	10	
元請会社処分の 解体撤去物 (PCB付着なし) 重量(kg)	有価物	0	0	0	0	0	0	0	0
	産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0

2) 二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出実績

表6に2025年度上期の解体撤去作業・工事で発生した二次廃棄物(低濃度汚染物)の月別の実績値を、表7に年度別の搬出実績を示す。また、表8には2025年度上期の搬出状況の詳細を示す。

解体撤去工事に伴って発生する二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出については、初回搬出時に東京都、江東区と協議し、あらかじめ安全な運搬についてご理解を得た上で進めている。

また、解体撤去物(低濃度汚染物)の払出しについては、従来からのPCB処理に伴う二次廃棄物(低濃度汚染物)の月間搬出量の取り決め(月6台以下、搬出数量は約30t以下)とは別管理で行うことについてご理解を頂き、東京都、江東区へは定例の月次報告書において、解体撤去物の月間払出数量を報告している。

表6 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の月別搬出実績

月度		2025年度							2025年度 4-10月累計
		4	5	6	7	8	9	10	
解体撤去に係る二次廃棄物搬出 実績(kg)		12,440	7,950	0	32,307	31,025	44,084	45,455	173,262

表7 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の年度別搬出状況

月度	2023	2024	2025(4-10月)	累計
解体撤去に係る二次廃棄物搬出 実績(kg)	60,846	27,715	173,262	261,823

表8 解体撤去物等(低濃度汚染物)の搬出状況

月・日		搬出先	種別	荷姿	低濃度数量(t)
4月	4月2日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.462
	4月2日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	1.854
	4月8日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.386
	4月15日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.657
	4月15日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.081
	計		トラック台数 5台		12.440
5月	5月19日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱 ¹⁾	4.097
	5月20日	群桐エコロ	運転廃棄物(紙・木)	40ℓブラケース	0.187
	5月27日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	3.666
	計		トラック台数 3台		7.950
6月					0.000
	計		トラック台数 0台		0.000
7月	7月9日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	3.077
	7月17日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	5.674
	7月17日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.373
	7月23日	神戸環境クリエート	運転廃棄物(保護具類)	200ℓドラム缶	0.238
	7月25日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.923
		オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	6.881
	7月29日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	4.198
	7月29日	神戸環境クリエート	運転廃棄物(紙布)	200ℓドラム缶	0.351
	7月30日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	4.592
	計		トラック台数 9台		32.307
8月	8月6日	神戸環境クリエート	運転廃棄物(保護具類)	200ℓドラム缶	1.136
	8月8日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.207
	8月12日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.861
	8月20日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	4.917
	8月22日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	5.002
	8月27日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.145
	8月27日	神戸環境クリエート	運転廃棄物(保護具類)	200ℓドラム缶	0.234
	8月28日	杉田建材	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	7.484
	8月29日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.040
	計		トラック台数 10台		31.025
9月	9月3日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	4.233
	9月5日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.913
	9月9日	神戸環境クリエート	運転廃棄物(紙布)	200ℓドラム缶	0.368
	9月10日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	5.864
	9月12日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	5.053
	9月12日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	鉄箱	6.844
	9月17日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	4.502
	9月18日	神戸環境クリエート	解体撤去物(解体撤去物)	フレコンバッグ	0.905
	9月19日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	5.390
	9月24日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.902
	9月25日	神戸環境クリエート	解体撤去物(解体撤去物)	フレコンバッグ	1.296
	9月26日	オオノ開発	解体撤去物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.814
	計		トラック台数 12台		44.084
上期計					127.806
10月	10月1日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.222
	10月3日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.234
	10月9日	群桐エコロ(株)	運転廃棄物(廃ブラ類)	40ℓブラケース	0.546
	10月9日	群桐エコロ(株)	処理物(紙・木)	40ℓブラケース	0.048
	10月8日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	2.654
	10月10日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.997
	10月15日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	鉄箱	7.047
	10月17日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.481
	10月22日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	鉄箱	7.082
	10月22日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	鉄箱	4.155
	10月24日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	鉄箱	3.100
	10月29日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.605
	10月31日	オオノ開発	解体廃棄物(金属くず他)	有姿(2重梱包)	3.285
	計		トラック台数 13台		45.455
4月～10月					173.262

1) 鉄箱:鋼製で1,500L×1,000D×1,100Hの密閉可能な箱。

3. 2025 年度上期での解体撤去工事・作業における安全活動の実施状況

1) 安全活動の実施状況

表 9 に主な安全教育・訓練ごとの実施日・回数・参加人数を示す。また表 10 に主な安全教育・訓練の状況を示す。操業体制は運転会社との、解体工事体制は受注会社との取り組み状況である。

運転会社は操業体制下で、解体撤去関係の業務として、施設の 5S 活動、解体撤去前の洗浄作業や液抜き、稼働設備や電気・制御系統との縁切り作業、解体撤去物の洗浄処理、二次廃棄物の処理及び払出等も実施しており、継続して安全活動に取り組んでいる。

解体撤去体制では、受注者の作業員への入所時安全教育、解体撤去災害防止協議会（2024 年 11 月設置、毎月開催）、安全懇談会等の安全活動を実施している。

2025 年度に実施した安全教育・訓練は、41 件、受講者数は延べ 1253 名で、この内、解体撤去体制係るのは 14 件、154 名である。

表9 主な安全教育・訓練ごとの実施日・回数・参加人数(2025 年度)

No.	区分	教育・訓練内容		実施日	実施回数(回)	参加人数												
						(人)	0	10	20	30	40	50	60	70	80			
1	操業体制	月例安全訓示	4月度	4/1,2,3,4	4	76												
2			5月度	5/7,8,9	3	72												
3			6月度	6/2,3	2	60												
4			7月度	7/1,2,3,8	4	65												
5			8月度	8/4,5,6,8	4	69												
6			9月度	9/2,3,4,5	4	63												
7		通報訓練			4/15	1	46											
8		配置転換に伴う安全教育			4/21	1	1											
9		クレーン教育			5/15	1	10											
10		フォークリフト・ウォークリーフト教育			5/23	1	10											
11		ハーネスによる救助訓練			5/29	1	7											
12		漏洩時対応訓練			5/30	1	12											
13		安全運用教育			6/2	1	2											
14		高圧ガス保安教育			6/9	1	11											
15		特別講演会「非正常作業の災害防止」			6/11	1	35											
16		熱中症予防教育			6/19	1	23											
17		血中PCB濃度測定結果報告会			4/30,5/1,2,7	4	75											
18		廃棄物分類とマニフェスト教育			5/14,21,6/11,12,13,14,16,17,19	9	56											
18		酸欠教育			5/21,6/11,12,13,14,16,17,19	8	55											
19		特化則教育			6/2,11,12,13,14,16,17,19	8	56											
20		マスクフィット訓練			6/3,4,5	3	62											
21		低圧電気教育			6/4,11,12,13,14,16,17,19	8	47											
22		有機溶剤教育			6/4,11,12,13,14,16,17,19	8	44											
23		薬剤取扱教育			6/6,11,12,13,14,15,16,19	8	45											
24		乾燥設備教育			6/6,11,12,13,14,16,17,19	8	35											
25		操業管理システム・セキュリティ教育			6/6,11,12,13,14,16,17,19	8	42											
26		粉じん教育			6/6,12,16,19	4	13											
27	放水訓練			9/17,29	2	7												
操業体制 上期計：累計27件、109回、のべ 1099名参加																		
28	解体工事体制	入所時安全教育	4月度	4/1,2,4,7,8,9,15,21	8	26												
29			5月度	5/1,7,8,12,13,15,20,23,26,29	10	28												
30			6月度	6/2,3,6,10,13,26	6	21												
31			7月度	7/4,7,8,15,18,22	6	7												
32			8月度	8/6,12,13,14,18,20,26	7	12												
33			9月度	9/1,8,9,10	4	8												
34		解体撤去災害防止協議会	4月度	4/24	1	6												
35			5月度	5/22	1	8												
36			6月度	6/26	1	8												
37			7月度	7/24	1	5												
38			8月度	8/28	1	6												
39			9月度	9/25	1	5												
40		JESCOとの安全懇談会			5/30	1	7											
41					6/3	1	7											
解体工事体制 上期計：累計14件、49回、のべ154名参加																		
2024年度 上期計：累計 41件、123回、のべ 1253名参加																		

表10 主な安全教育・訓練(2025 年度)

実施月日	教育・訓練内容	参加人員(名)		
		運転会社	解体請負業者	合計
4/1,2,3,4	月例安全訓示	76 名		76 名
4/1,2,4,7,8,9,15,21	入場時安全教育		26 名	26 名
4/15	通報訓練	46 名		46 名
4/21	配置転換に伴う安全教育	1 名		1 名
4/24	解体撤去災害防止協議会		6 名	6 名
5/1,7,8,12,13,15,20,23,26,29	入場時安全教育		28 名	28 名
5/7,8,9	月例安全訓示	72 名		72 名
4/30・5/1,2,7	血中PCB濃度測定結果報告会	75 名		75 名
5/15	クレーン技量アップ教育	10 名		10 名
5/23	フォークリフト・ウォークリフト安全教育	10 名		10 名
5/14,21	ごみの分け方マニフェスト教育	17 名		17 名
5/21	酸欠教育	16 名		16 名
5/22	解体撤去災害防止協議会		8 名	8 名
5/29	ハーネス使用による救助訓練	7 名		7 名
5/30	ISO令和7年度漏洩時対応訓練(前処理G)	12 名		12 名
5/30	JESCOとの安全懇談会		7 名	7 名
6/3	JESCOとの安全懇談会		7 名	7 名
6/2,3,6,10,13,26	入場時安全教育		21 名	21 名
6/2,3	月例安全訓示	60 名		60 名
6/2,11,12,13,14,16,17,19	特化則	56 名		56 名
6/2	安全運用教育	2 名		2 名
6/4,11,12,13,14,16,17,19	有機溶剤教育	44 名		44 名
6/4,11,12,13,14,16,17,19	低圧電気取扱い	47 名		47 名
6/6,11,12,13,14,16,17,19	作業管理システム・セキュリティー教育	42 名		42 名
6/6,11,12,13,14,16,17,19	乾燥設備教育	35 名		35 名
6/6,11,12,13,14,15,16,19	薬剤の取り扱い教育	45 名		45 名
6/6,12,16,19	粉じん教育	13 名		13 名
6/9	高圧ガス保安教育	11 名		11 名
6/11,12,13,14,16,17,19	酸欠教育	39 名		39 名
6/11,12,13,14,16,17,19	ゴミの分け方・マニフェスト関係教育	39 名		39 名
6/19	熱中症予防教育講話	23 名		23 名
6/11	特別講演会「非定常作業の災害防止」	35 名		35 名
6/3,4,5	マスクフィット訓練	62 名		62 名
6/26	解体撤去災害防止協議会		8 名	8 名
7/1,2,3,8	月例安全訓示	65 名		65 名
7/4,7,8,15,18,22	入場時安全教育		7 名	7 名
7/24	解体撤去災害防止協議会		5 名	5 名
8/6,12,13,14,18,20,26	入場時安全教育		12 名	12 名
8/4,5,6,8	月例安全訓示	69 名		69 名
8/28	解体撤去災害防止協議会		6 名	6 名
9/2,3,4,5	月例安全訓示	63 名		63 名
9/1,8,9,10	入場時安全教育		8 名	8 名
9/17,29	放水訓練	7 名		7 名
9/25	解体撤去災害防止協議会		5 名	5 名
2025年度 9月末まで	累計安全教育・訓練実施数 43件 (内、解体撤去関連 14件)	1099 名	154 名	1253 名

＝解体撤去に関する教育訓練

2) 受注者によるヒヤリハット活動の状況と対応

先行解体撤去の作業・工事においては、受注者により安全活動が実施されている。

これらの安全活動は、毎月開催している解体撤去災害防止協議会において、解体撤去作業・工事を受注している元請会社各社と JESCO で取り組み状況を共有し、意見交換を行っている。

解体撤去災害防止協議会では、解体作業現場の安全パトロールを実施し、受注者から改善要望を聴取して適宜対応するとともに、JESCO から改善提案するなど、より安全で作業性のよい現場に継続して改善されるよう、受注者と発注者が共同で取り組んでいる。

表 11 に元請会社から提出されたヒヤリハットと改善対策の事例を示す。

表 11 解体撤去作業時におけるヒヤリハットに対する改善対策の事例




No.	区分	件名・内容	対策
1	体験	ユニック車の荷台でドラム缶を動かした際に、思っていた以上に軽くて勢いよく動いてしまい、ドラム缶とドラム缶の間に手を挟みそうになった。	<ul style="list-style-type: none">・ドラム缶を動かす前には重さを確認する。・ドラム缶を動かす方向に物がないかを確認する。
2	体験	管理区域外の協力会社の工作場で、溶接作業時に火花が大量に飛び散りヒヤリとした。 磨きが適切に出来ていなかった。	<ul style="list-style-type: none">・職長より溶接部はしっかりと磨くことを再教育した。・溶接前に磨きが出来ているかを確認する。
3	体験	解体部材をパレットに収納する時に、部材の切断面が鋭利になっており、気付かずに触れるとケガをする可能性があった。	<ul style="list-style-type: none">・パレットに収納時は、切断面がむき出しにならないように収納する。・テープや養生シートで切断面の鋭利な部分を覆ってから収納作業を行う。

解体撤去に係る排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングについては、「東京 PCB 処理事業所 PCB 処理施設の解体撤去における排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングに関する基本的対応」(2023. 10. 30 承認, 東京事業部会、以下「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」という。)に基づいて、対象期間(1 回/3 か月を基本)の測定項目のモニタリングを実施した。

(1) 対象期間

表12 モニタリング対象作業・工事とモニタリング対象期間の関係

凡例

	洗浄		PCB除去分別		解体撤去
---	----	---	---------	---	------

排出源モニタリング

排気・換気：○、排水：□、雨水：△

周辺環境モニタリング

PCB：●、DXNs：■

(2) 測定位置

各項目の測定位置を、図1に示す。

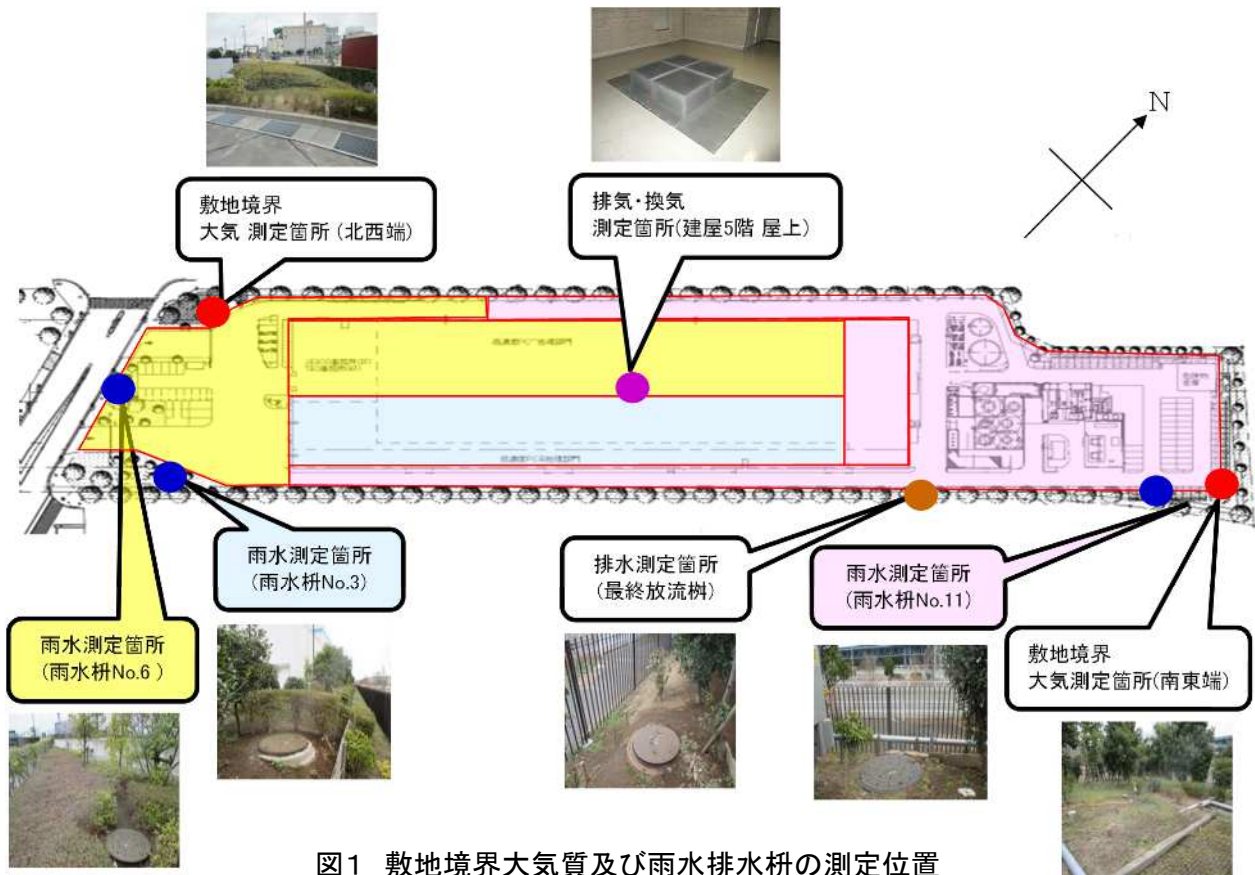


図1 敷地境界大気質及び雨水排水枡の測定位置

2) 計測結果

(1) 排出源モニタリングの結果

表13～15に排気・換気、排水及び雨水についての、2025年度上期の解体撤去作業における排出源モニタリングの実施結果を示す。各表には比較のため2020年度～2022年度3か年の作業時の状況も併せて掲載する。雨水については図2も付記する。

排出源モニタリングにおける排気・換気、排水、雨水の各測定値は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準を満足している。また、測定結果は2020年度～2022年度の作業時の3か年の実績と比較して、概ねその範囲内である。

表13 先行解体撤去工事における排出源モニタリング(排気・換気)の実施結果

測定場所	測定項目	単位	測定結果(2025年度)*1			測定結果(2020～22年度の範囲)*2	環境保全評価基準	2025年度の測定回数*3
			4/9,10	7/17,18	10/23,24			
排気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満	0.0005未満	0.0006	0.0005未満～0.0010	0.01以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.0014	0.0036	0.0024	0.0025～1.1	100以下	年4回
	IPA	ppm	0.3	0.3	0.3	0.1未満～0.4	40以下	年4回
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満	0.0005未満	0.0009	0.0005未満～0.0017	0.01以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.35	0.61	0.23	0.55～17	100以下	年4回
換気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満	0.00014	0.00011	0.00005未満～0.00030	0.001以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.059	0.021	0.065	0.013～0.15	5以下	年4回
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.00005未満	0.00008	0.00010	0.00007～0.00028	0.001以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.022	0.035	0.068	0.023～0.70	5以下	年4回

*1 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。

*2 作業時の対比データとして掲載。

*3 2025年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

表14 先行解体撤去工事における排出源モニタリング(排水)の実施結果

測定項目	単位	測定結果(2025年度) *1			測定結果(2020～22年度の範囲) *2	環境保全 評価基準	2025年度の 測定回数 *3
		4/16	7/24	10/30			
PCB	mg/ℓ	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0015以下	年4回
pH	—	8.3	8.3	8.2	7.4～8.1	5を超え9未満	年4回
n-Hex抽出物質	mg/ℓ	1未満	1未満	1未満	1以下	5以下	年4回
BOD	mg/ℓ	4.4	0.5未満	0.5未満	0.5未満～7.4	600未満	年4回
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	3	1未満	1	1未満～14	600未満	年4回
N(全窒素)	mg/ℓ	6.7	5.0	3.7	2.6～7.9	120未満	年4回
DXNs *1	pg-TEQ/ℓ	0.46	1.1	0.31	0.011～1.3	5以下	年4回
Zn(亜鉛)	mg/ℓ	0.08	0.05未満	0.05未満	0.05未満～0.28	2以下	年4回
P(リン)	mg/ℓ	0.14	0.06未満	0.06未満	0.06未満～0.24	16未満	年4回

*1 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。

*2 操業時の対比データとして掲載。

*3 2025年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

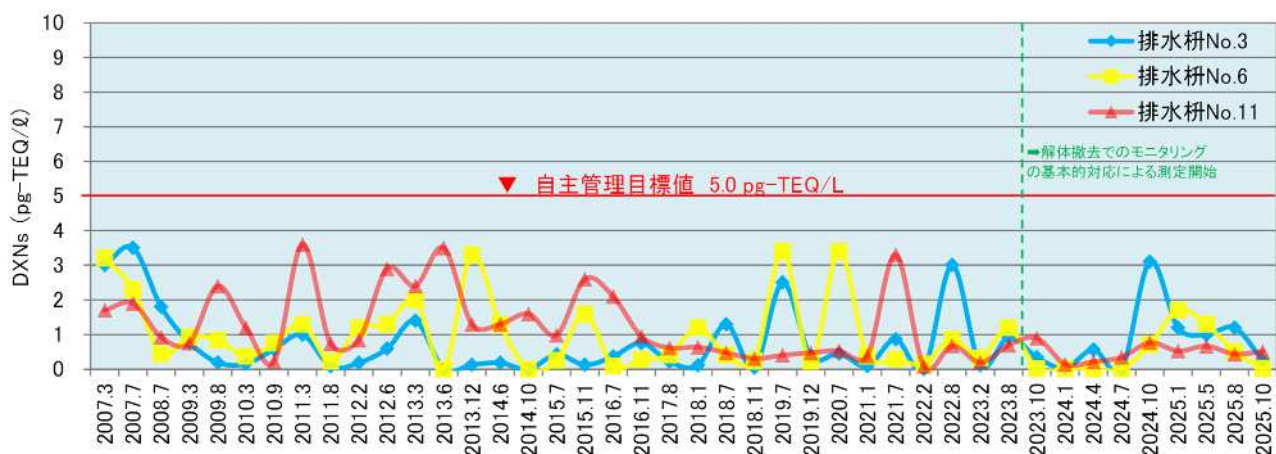
表15 先行解体撤去工事における排出源モニタリング(雨水)の実施結果

測定箇所	測定項目	単位	測定日	測定結果	参考指標	2025年度の 測定頻度 *3
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2025.5.20	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2025.8.28	0.0005未満		
			2025.10.30	0.0005未満		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2025.5.20	1.0	5以下	年4回
			2025.8.28	1.2		
			2025.10.30	分析結果待ち		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.012～3.0		
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2025.5.20	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2025.8.28	0.0005未満		
			2025.10.30	分析結果待ち		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2025.5.20	1.3	5以下	年4回
			2025.8.28	0.51		
			2025.10.30	分析結果待ち		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.16～3.4		
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2025.5.20	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2025.8.28	0.0005未満		
			2025.10.30	分析結果待ち		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2025.5.20	0.53	5以下	年4回
			2025.8.28	0.67		
			2025.10.30	分析結果待ち		
			(2020 年度～2022 年度) *1	0.090～3.3		

*1 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。

*2 操業時の対比データとして掲載。

*3 2025年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。



- 1) 2007年3月より測定開始
2) 2023年10月より「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」に基づく測定開始

図2 排出源モニタリング(雨水)の推移

(2) 周辺環境モニタリングの結果

表16、17にPCB及びダイオキシン類についての2025年度4月～10月の解体撤去作業における周辺環境モニタリングの実施結果を示す。ダイオキシン類の推移については、図3にも示す。

周辺環境モニタリングの大気質(PCB)の濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準(参考指標)を満足している。また、計測結果は2020年度～2022年度の3か年の実績と比較して、概ねその範囲内である。

大気質(ダイオキシン類)の濃度は、7月の測定結果が参考指標と比較して高値となった。添付資料-1に示す通り、東京事業所の排気等の影響によるものではなく、周辺施設の影響を受けたものである。

表16 先行解体撤去工事における周辺環境モニタリング(PCB)の実施結果

測定項目	測定箇所	測定日 *1	測定結果	風向	参考指標 *2	2025年度の測定回数 *3
PCB mg/m ³	南東端	2025.4.9～16	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2025.7.17～24	0.00005未満	南南西		
		2025.10.23～30	0.00005未満	北		
		(2020年度～2022年度) *4	0.00005未満	—		
	北西端	2025.4.9～16	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2025.7.17～24	0.00005未満	南南西		
		2025.10.23～30	0.00005未満	北		
		(2020年度～2022年度) *4	0.00005未満	—		

*1 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。

*2 参考指標は環境庁大気保全局長通達(昭和47年環大気141号)に基づく。

*3 2025年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の測定を実施する。

*4 作業時の対比データとして掲載。

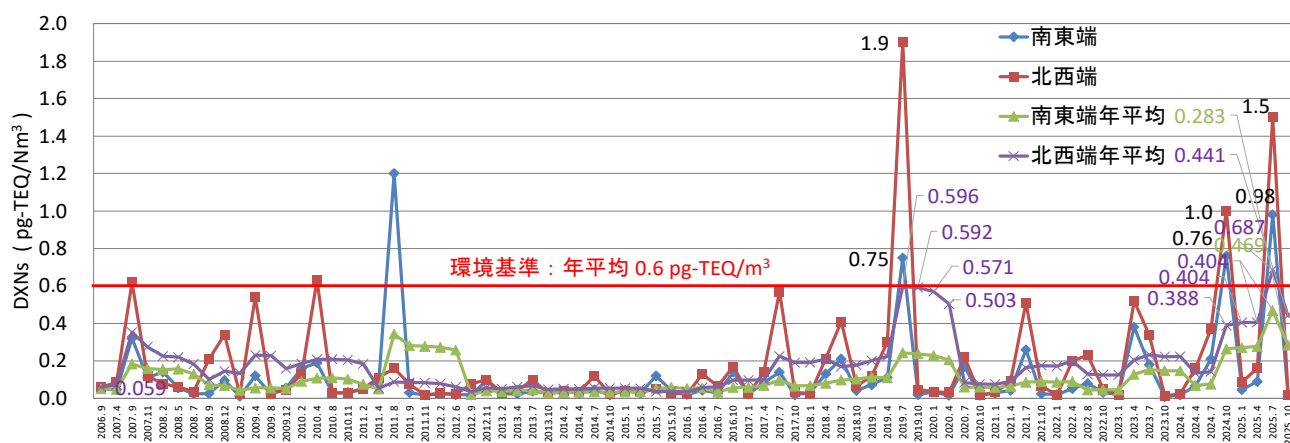
表17 先行解体撤去工事における周辺環境モニタリング(DXNs)の実施結果

定項目	測定箇所	測定日 *1	測定結果	風向	参考指標	測定頻度
DXNs pg-TEQ/m ³	南東端	2025.4.9～16	0.089	南南西	年平均 0.6以下	年4回
		2025.7.17～24	0.98	南南西		
		2025.10.23～30	0.018	北		
		(2020年度～2022年度) *2	0.0084～0.38	—		
	北西端	2025.4.9～16	0.16	南南西	年平均 0.6以下	年4回
		2025.7.17～24	1.5	南南西		
		2025.10.23～30	0.017	北		
		(2020年度～2022年度) *2	0.013～0.52	—		

*1 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。

*2 作業時の対比データとして掲載。

*3 2025年度は12か月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。



1) 2006年9月より測定開始

図3 先行解体撤去工事における周辺環境モニタリング(DXNs)の推移